



韓国岳
新床展望台 ●
大漁池 ●
天の逆針

高千穂峰
龍馬夫妻は新婚登山にこの山に登った。馬の背越えては危なくてお龍の手を引き、おびたしいミヤマキリシマツツシに感動し、天の逆針を見て「天狗の面なり」と大いに笑った。

日本最初の新婚旅行の地・霧島
 龍馬とお龍の霧島方面への旅行は、日本最初の新婚旅行と言われています。そこは西郷どんお薦めの日本一の温泉三昧旅行でした。
 二人は当時の自然豊かな霧島路を、天降川の河口、浜之市から霧島山の源流まで登り、ついに高千穂峰に至りました。

⑤霧島神宮
天孫ニニギノミコトを祀る。龍馬夫妻は高千穂登山の後この宮を参拝し、御神木の太杉を見た後、別当寺華林寺の宿坊に泊まる。

龍馬・お龍新婚湯治碑
②塩浸温泉
龍馬は手傷の治療のためこの地に18泊した。谷川で魚を釣り、ピストルで鳥を撃つなど、人生で最も楽しい時期を過ごした。

③和気公園
奈良時代から平安時代にかけて国の官僚として活躍した和気清麻呂公を祀る和気神社に隣接する。和気公の生まれ故郷。岡山県和気町から贈られた100本の藤が植栽され、毎年春には「藤まつり」が開催される。

④犬飼滝
高さ36m、幅22mの滝。龍馬が姉の乙女さんに宛てた手紙には「陰見(いんけん)の滝」と紹介されている。

①浜之市
西郷隆盛や小松帯刀らの勧めで薩摩を訪れた龍馬夫妻は、西郷邸・小松邸・吉井邸に泊まった後、船でこの地の上陸する。

案内板

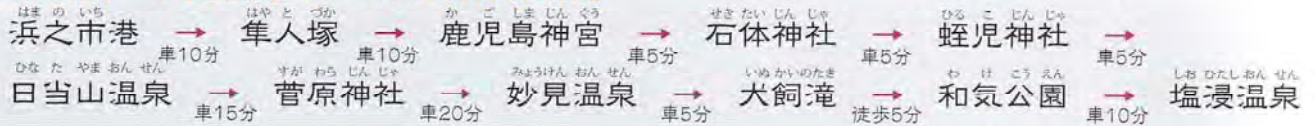
 【凡例】
 ★案内板
 〃ハネムーンロード

新婚旅行の日程
 1866年(慶応2年)

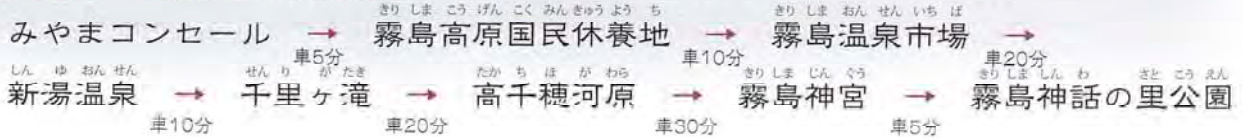
- ③/10 鹿兒島城下に到着
- ③/16 霧島に向けて出発
- ③/17 浜之市に上陸し、日当山に着く
- ③/17 塩浸温泉に着く
- ③/28 霧島山に発す
- ③/28 硫黄谷温泉に泊る
- ③/29 高千穂峰に登る
- ③/30 華林寺の宿坊に泊る
- ④/1 硫黄谷温泉に帰る
- ④/1 塩浸温泉に帰る
- ④/8 日当山に帰る
- ④/11 浜之市に帰る
- ④/12 浜之市をたどり、鹿兒島城下に帰る。

龍馬の足跡を巡るルート

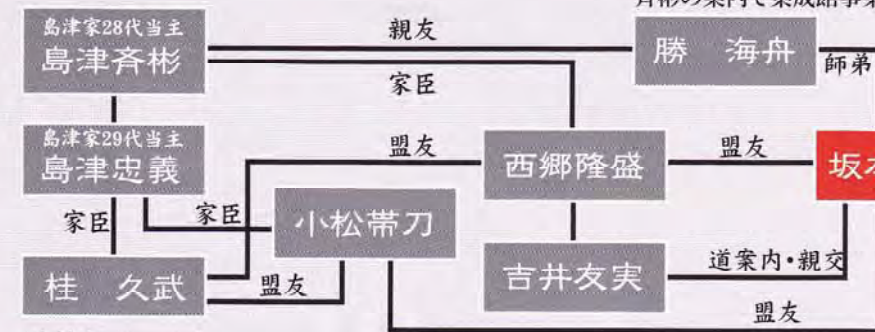
①日当山～妙見温泉コース(所要時間 約7時間)



②霧島コース(所要時間 約6時間)



ゆかりの人物との関連図



霧島神宮近くの地域を開拓

咸臨丸にて山川港に入港し、齊彬の案内で集成館事業を見学。

●島津斉彬
嘉永6年、巡見において霧島や和気清麻呂公の足跡を訪れ、また山ヶ野金山などにも赴く。

●島津忠義
明治期にも栄之尾温泉を避暑地として訪れる。

●小松帯刀
病気治療のため、度々栄之尾温泉を訪れる。

●西郷隆盛
幕末期から明治にかけて、狩りのために日当山温泉を訪れている。

乙女姉さんへの手紙 (京都国立博物館蔵)

龍馬はお龍との旅行の様子を土佐にいる姉の乙女さんに宛てた手紙の中で詳しく記している。犬飼滝については「げに、この世の外かと思われるほどのめずらしき所なり」と記し、高千穂登山の様子については図入りで詳しく紹介したうえで、馬の背越えでは危なくお龍の手を引いてやったことや、山頂の「天の逆鋒」を引き抜いて戯れたことなどを記している。



ゆかりの温泉地

塩浸温泉



寺田屋事件で手傷を負った龍馬は、西郷隆盛や小松帯刀らの勧めでこの温泉を訪れた。江戸時代から明治時代にかけて繁盛し、全盛期には2階建ての宿が7軒あり、約2,500名を収容できたと言われていた。

硫黄谷温泉 (霧島ホテル)



龍馬は高千穂峰に新婚登山をする前日にこの温泉に宿をとった。登山の弁当代わりに、小松帯刀が持たせたカステラを携えていたと言われる。登山の後には霧島神宮を参拝し、別当寺「華林寺」の宿坊に泊まった。

栄之尾温泉 (霧島いわさきホテル)



栄之尾温泉が記録に最初に出てくるのは延享元(1744)年であり、その後には島津家の当主らが湯治をするための施設ができた。小松帯刀もこの地を好み、龍馬はここで湯治をしていた帯刀を見舞っている。

龍馬とお龍の足跡をたどる

ハネムーンウォークin霧島

二人が歩いた道のりを現代の龍馬とお龍となって歩き、自然や歴史を楽しむウォーキング大会。地域の方々によるおもてなしの数々も楽しみみのひとつ。6つのコースから自分の体力に合わせて選べます。

毎年3月中旬開催



霧島市観光ボランティアガイド 霧島しっちょいどん



塩浸温泉や和気神社など、龍馬に関する史跡を案内するボランティアガイド「霧島しっちょいどん」。地元ならではの話が聞けるかも?

※しっちょいどん=鹿児島の方で「物知り」

お問い合わせ 霧島市観光課:電話0995-64-0895